

## 令和5年度 介護人材の確保・定着に向けた事業計画（案）

本市では、介護人材の確保・定着に係るプロジェクト会議を平成28年度に立ち上げ、介護業界全体のイメージアップに向けた取組や介護人材の確保・定着に向けた様々な取組を実施してきた。

特に令和2年度から令和5年度までの4年間は、本市における介護人材確保・定着施策の集中実施期間に位置づけ、各種施策を推進している。

令和5年度事業計画については、これまで取組んできた施策をベースとして、各事業の実績に応じて計画を見直し予算要求を行った。

取組内容	事業名	R4 予算額	R5 要求額	比較
Ⅰ. イメージアップに向けた取組	1. ホームページによる情報発信	557	557	0
	2. 外国人向け介護の仕事理解促進	50	50	0
	小計	607	607	0
Ⅱ. 人材定着に向けた取組	1. キャリアアップ研修会	182	292	110
	2. 若手職員交流推進事業	200	200	0
	3 管理者等向け研修会	200	200	0
	4. 他事業所のいいところ発見！見学会	176	176	0
	小計	758	868	110
Ⅲ. 人材確保に向けた取組	1. 介護の職場見学会	118	124	6
	2. 介護の入門的研修	500	540	40
	3. 介護の基礎的講座開催	150	10	▲140
	4. 介護人材育成支援事業補助金	750	1,000	250
	5. 外国人介護人材受入れ支援事業	94	94	0
	6. 介護分野への元気高齢者等参入促進	—	—	0
	小計	1,612	1,768	156
Ⅳ. プロジェクト会議開催	1. 会議開催経費	136	136	0
	2. アンケート調査の実施	0	0	0
	小計	136	136	0
合計		3,113	3,379	266
【県補助額】総事業費－対象外経費 238 千円) × 3/4 上限額 2,500 千円		2,156	2,355	

県補助金名：保険者等による福祉介護人材確保・定着促進事業費補助金

対象外経費：238 千円（ホームページ保守管理委託料）

## I. イメージアップに向けた取組

### 1. ホームページ IZUMO KAIGO LIVE!による情報発信

介護職を目指す学生やその保護者など、多様な年齢層に向けて介護の魅力を発信し、介護業界のイメージアップを図り、介護職場への就業促進及び定着化につなげる。

- (1)内容
- ・事業所へのインタビューや座談会記事を掲載すると、アクセスが増え、関心が伺えるため、今後もインタビュー記事を掲載する。
  - ・本市の取組紹介や介護に関連するイベント情報等の掲載が少なくなっているため、随時更新する。

#### (2)経費

①委託料（コンテンツ作成委託）	319 千円
・インタビュー記事追加（70 千円×1.1×3 回）	231 千円
・座談会記事追加（@80 千円×1.1×1 回）	88 千円
②システム保守管理料（@18 千円×12 月×1.1）	238 千円

【事業費 557 千円】

### 2. 外国人向け介護の仕事理解促進

本市在住外国人に対し、介護職場への就労につながるよう、介護の仕事について理解促進を図ることを目的とした『外国人向け介護の仕事理解促進イベント』を開催する。

- (1)内容
- ・例年実施される、産業政策課主催の「外国人住民向け合同企業説明会」の事業所への周知を行う。
  - ・介護をPRするチラシを作成し配布する。
  - ・介護現場で働く外国人の方に仕事内容などを話していただくトークイベント等を企画する。

#### (2)経費

・需用費（PR チラシ印刷製本）	50 千円
------------------	-------

【事業費 50 千円】

## II. 介護人材の定着に向けた取組

### 1. キャリアアップ研修会の開催

介護事業所の中堅職員向けの研修会を開催し、人材育成を含めた職場環境の改善、マネジメント能力の向上、サービスの質の向上を図る。

また、介護職場で求められる専門的な知識・技術習得や多職種協働のため

必要となる知識習得のための研修会を開催し、介護人材の質の向上を図る。

- (1)内容 ・ B C P 策定、感染症対策、災害対応等（未確定）  
・ 開催回数は 5 回を計画しているが、令和 6 年度から策定が義務化される B C P は事業者や職員の関心も高く、より必要とされる専門知識等を取得できるような研修を企画する。

(2)経費

- ・ 委託経費 290 千円  
・ 講師用お茶代等（300 円×5 回） 2 千円

---

【事業費 292 千円】

## 2. 若手職員交流推進事業

若手職員（経験年数概ね 3 年未満）が一堂に会し、介護事業所を超えた職員同士のネットワークを構築するとともに、介護職の魅力を再確認するなどの取組を推進することにより、若手介護人材の離職を防止し、職場定着を図る。

- (1)内容 ・ 入所時のネットワーク構築のため、合同入職式の開催、先輩職員との交流会の開催や入所 3 年程度の若手職員のネットワーク構築のため、介護技術コンテストの開催や介護事業所を超えた交流会の開催  
・ 開催回数（年 4 回）

(2)経費

- ・ 委託料（@50 千円×4 回） 200 千円

---

【事業費 200 千円】

## 3. 管理者等向け研修会の開催

施設の運営にあたる管理者等を対象として、雇用管理改善に関する研修会を年 1 回程度開催する。

- (1)内容 マネジメント管理、事業連携・経営統合、女性にとって働きやすい環境についてなど（未確定）

- (2)経費 講師謝金等（200 千円×1 回） 200 千円

---

【事業費 200 千円】

## 4. 他事業所のいいところ発見！見学会の開催

所属する事業所以外の施設を見学することで、新たな発見や気づきにより、自施設でのサービスを見直すきっかけとなり、さらなるサービスの質の向上につなげる。

- (1)内容
- ・他事業所の見学会、意見交換、結果報告
  - ・市内事業所に周知し、他施設職員の見学の受け入れ可能な施設・事業所及び、他事業所への見学会を希望する職員を募集する。
  - ・見学会参加者に対して、アンケート調査等を行う。
  - ・開催回数（年2回）

(2)経費

委託料（HP 記事作成）@80,000 円×1.1×2回 176 千円

【事業費 176 千円】

### Ⅲ. 介護人材の確保に向けた取組

#### 1. 介護の職場見学会（模擬授業体験会）の開催

将来の担い手となる若者（中学生・高校生）、保護者、教員向け及び地域の主婦層、中高年齢者向けに介護施設見学や介護福祉士養成校での模擬授業体験会を開催する。

- (1)内容
- ・開催回数（年2回：8月、10月頃）

(2)経費

・受入れ事業所謝金（5千円×2事業所×2回） 20千円

・養成校謝金（10千円×2回） 20千円

・チラシ印刷代（37,800円×1.1×2回） 84千円

【事業費 124 千円】

#### 2. 介護助手を輩出するための介護の入門的研修の開催

介護未経験者の介護分野への参入のきっかけを作るとともに、介護分野で働く際の不安を払拭するため、介護に関する入門的な知識・技術を習得するための「介護の入門的研修」を実施し、研修修了後に介護施設等とのマッチングを行う。

- (1)内容
- 介護の職場に就業希望の方を対象とした21時間研修を実施する。

- ・開催回数（年1回）

- ・定員20名程度

(2)経費 委託料 540千円

【事業費 540千円】

### 3. 中学生向け介護の基礎的講座の開催

中学校学習指導要領の改訂により、「技術・家庭科」で介護など高齢者との関わりを実践的に学ぶことが規定されたため、市内の介護職員を講師として派遣し、介護学習を実施する。

- (1)内容
- ・市内中学校を対象に介護の基礎的講座（座学・体験授業）を開催する。
  - ・講師は、各団体・事業所から約 50 名登録済。
  - ・市社協が申込先となり、申込校及び講師との連絡調整を実施。
  - ・講座に必要なテキスト等は提供する。
  - ・実施目標 7～8 校（令和 4 年度実施数 9 校）
  - ・協力いただいた事業所や実施した内容等をホームページ等で周知する。

(2)経費

資料印刷代	10 千円
	<b>【事業費 10 千円】</b>

### 4. 介護人材育成支援事業補助金

介護サービス事業所における介護従事者の資質向上を図り、介護人材の確保及び育成を推進するため、「介護職員初任者研修」又は「実務者研修」修了者に対し、受講料及び教材費の一部を補助する。

- (1)内容
- ①次の研修受講費用の 1 / 2 を補助する。（上限 50,000 円）
- ・介護職員初任者研修
  - ・実務者研修
- ②補助対象者（次のいずれかの要件を満たす人）
- ・上記研修の修了後、市内介護サービス事業所に 3 か月以上継続して勤務している人
  - ・研修の修了後 6 か月以内に、市内介護サービス事業所に就労し、3 か月以上継続して勤務している人
- ※令和 4 年度申請実績（令和 4 年 12 月末時点）11 件 413,200 円

(2)経費

補助金（上限 50 千円×20 名）	1,000 千円
	<b>【事業費 1,000 千円】</b>

### 5. 外国人介護人材受入れ支援事業

市内介護事業所向けに外国人人材受入れ環境整備を推進することを目的としたセミナーを開催する。

(1)内容	外国人人材の受入れ体制の構築について 実際に、外国人介護職員を雇用している事業所による事例発表。 ・開催回数（年1回）	
(2)経費		
	・報償費	80千円
	・需用費	14千円
		<b>【事業費 94千円】</b>

#### IV. プロジェクト会議開催

##### 1. 会議開催経費

介護職場における人材の確保・定着を図り、将来的に質の高い安定した介護サービスを供給していくために必要な取組を検討する介護人材の確保・定着に係るプロジェクト会議を開催する。

(1)内容	プロジェクト会議の開催経費 ・年2回開催予定とし、次に掲げる事項について協議検討する。 ①介護人材確保・定着に関する実態把握及び課題の整理 ②介護人材の確保・定着に向けた取組 ③その他会議が必要と認める事項	
(2)経費	・委員謝金 (@3,110円×16人×2回)	100千円
	・委員旅費 (@1,000円×16人×2回)	32千円
	・その他経費	4千円
		<b>【事業費 136千円】</b>

##### 2. 介護人材確保・定着に係る施策に関するアンケート調査の実施

市内介護サービス事業所における介護従業者の実態把握や行政に期待したい支援策を問うアンケート調査を実施する。

(1)内容	令和元年度から実施している、市内全ての介護サービス事業所を対象としたアンケート調査を継続して実施し、推移の検証を行う。 ・調査方法:市内介護サービス事業所に調査依頼し、回答を求める。	
(2)経費		
	委託料	0千円
		<b>【事業費 0千円】</b>